

# トランプは解体鉄球を NFL にぶつけた——なぜか？

## ——隠れた裏の物語

【訳者注】これはかなり高級な読み物である。SOTN でなければ、ここまで見通すことはできないであろう。アメリカのフットボール・チーム（ほとんど黒人）が、米国歌や国旗を競技場で、故意に侮辱する所作を取ったこと、トランプ大統領が「そういうサノバビッチ（馬鹿野郎）をフィールドからつまみだせ、クビだ！」と叫んだことが話題となった。そのおかげで（！）、フットボール離れが急速に起こっているらしい。NFL はイルミナティが主催していることは、ハーフタイムのサタンの出し物を見ればわかる。（ロンドン・オリンピックも完全にそうだった。）こんなものを、ハリウッドも、音楽産業も、ポップ音楽大会も含めて、生かしておくことはない、ボイコットせよと論者は言っている。その言やよし。

彼は、この事件の背景にあるのはソロスとその一統で、その目的が何であるかを詳細に解説している。それはやがて起こるはずの階級闘争（彼らの命が危ない）を、人種闘争に切り替えてごまかすためだという。今起こっていることは、ちょうど 100 年前、1917 年のボルシェビキ（共産主義）革命と同じであり、これを起こしている者たちも、ボルシェビキと同じ心性、同じ狙いをもった者たちで、これこそが共産主義なのだと言っている。

State of the Nation

September 24, 2017



ボルティモア・レイブンズの選手が NFL 試合の前、米国歌演奏の間、しゃがみ込む

ここにいるのは、百万長者の選手たちで、年間の逮捕件数が、一人当たり、ラップシンガーより多い者たちである。何が不服なのか——何が？！

そこで彼らは、彼らの途方もない無知を、これでもかと言うように披露してみせた——アメリカ国旗、国家、国民に対する不敬を、彼らの最も都合のいい時間を使って、我々に突きつけることによって。

この者たちは狂っているに違いない。あるいは、ひょっとしたら、脳しんとうが本当に効いてきたのかもしれない。

なんといっても、研究によれば、彼らの 87%が、慢性のトラウマ脳症、つまり、プロとしてのフットボールによって繰り返された脳しんとうによる、深刻な脳の障害をもっている。

「NFL 脳しんとうは、考えられていたよりはるかに深刻と判明」

<http://stateofthenation2012.com/?p=84483>

NFL 文化のこの特別の医学的側面は、真剣に考えねばならず、なぜこの人々が、現在のこの間違った方向に、こうも簡単にけしかけられるのか、という問題を提出させていただきたい。

## 衝突炎上

National Football League が全体として、全面的な“衝突炎上”モードに入るとは、考えられないことである。すべてのオーナーと、選手と、リーグ役員たちが、トコトン行きつくところまで競争しようとしているかのようだ。そして彼ら全部が勝っている！

トランプ大統領が、選手たちに言うように NFL コミッショナーに忠告したのは、国歌演奏の間は起立するように、ということに過ぎない。それを、何百万ドルも稼ぐ駄々っ子たちに言うのは、むつかしいというのか？「トランプのスポーツ喧嘩がエスカレート：NFL チーフに〈立てと言え〉」 <http://stateofthenation2012.com/?p=84476>

アメリカ大統領が、世界で最高に稼ぐスポーツ選手に、最低限の礼儀と威厳を示したらどうかと言っただけで、これほどの大騒動になったことは、これまでにない。

この野蛮で狂った社会問題をちょっと考えていただきたい

この者たちは、当然の常識に逆らって、支払ってくれる民衆に無礼を働いている——特に、レッド・ステートと呼ばれる、フットボール熱が断然、最も高い州で。

この給料がよく、チャホヤされすぎて思い上がった者たちは、この大きな球技場で、毎日曜日、彼らのファンという収入の出所に、厚かましくも礼儀を示すのを拒否している！

我々は、彼らフットボール選手一般が、この業界で最も稼ぐ者ではないこと知っている。またNFLのオーナーも、リーグ役員もコーチも、そうではない。しかしなぜ、わざわざ収入源を閉ざすようなことをするのか？

これはプロスポーツの世界で起こった、最も狂気じみた出来事に違いない。正直言って、どんなスポーツ・リーグの歴史でも、この自己破壊的なキチガイ沙汰に相当するものはない。——そこで疑問が生ずる。このゲームを、アメリカの民衆に対して仕掛けている者は、本当のところ誰なのか？

**問題はNFLの不敬でも、トランプのツイートでもない。それはソロスの社会操作だ**

どうしても理由がわからないというときには、ジョージ・ソロス一味がその背後にいると考えて間違いない。

アメリカ人民に、これだけの規模の社会操作を、リアルタイムで押し付けようとする努力には、**「紫革命」 Purple Revolution** という文字がべったり書かれている。

<http://stateofthenation2012.com/?p=56307>

## オバマの人種戦争を継続

トランプが、洗脳されたバラク・オバマによって故意に始められた人種戦争を、引き継いだのは明らかである。これこそ、ソロスとその一統がアメリカ共和国を破壊しようと企てる、主たる手段である。もちろん、国家は多くの割れ目によって深く分裂している。しかし人種間の緊張は何世紀もくすぶっている。これを挑発しようとする者たちは、ヒューズに火をつける絶好の機会を待っている。そこで、現在のアイデンティティ政治文化によって悪化した、他のすべての深い亀裂が、火の付きやすくなった火口箱に、たやすく引火するであろう。

誰でも、警察の残忍さと、権力による無遠慮な殺人が、歴史上、頂点にあることは知っている。しかし全国を通じて、こうした不当な殺人の犠牲者になっているのは、黒人も白人も、

褐色人種も黄色人種も同じである。にもかかわらず、社会操作をする者たちは、この警察の犯罪が、黒人だけに向けられるように企てている。それは、他の傷ついた人口に火をつけるだけでなく、更に黒人社会を煽り立てて、他のどんな犠牲者よりも、黒人の犠牲が最も大きいと主張させている。



**危険な闘争：コリン・キャパニック**にリードされた国歌への抗議は、特権、プライド、愛国主義についての論争に火をつけた。

ところで、コリン・ランド・キャパニックというこの人物の写真を見ていただきたい。彼はバラク・オバマによく似ているが、それには十分な理由がある。彼の家系もやや似ていて、それにも理由がある。キャパニックは、社会操作をする者たちが、NFL 選手の国歌演奏中のこのスタントを、全く意図的に利用した選手である。

オバマのように、コリン・キャパニックは本当の黒人ではない。彼の白人との一代混血児

の風貌は、あらゆる異なった肌色のアメリカ人に訴える魅力を与えている。このようにして彼らは、プロスポーツの内部に、“抗議の原型”として、彼を祭り上げたのである。キャパニックはおそらく、自分が国家を通じて、人種戦争に火をつけるのに利用されているとは、思いもよらないだろう。彼はマインド・コントロールの集中操作を与えられていて、訓練された通りのことをやっている。

いま行われている、ソロスの資金による社会操作実験——**紫革命**をひそかに起こそうとするこの実験——の別の重要なやり方がある。現実の犯行者たちは、アメリカを通じて、大きな階級闘争が起こっていることを知っている。銀行屋たちは、2000年にドットコム・バブルがはじけて以来、ウォール街を富ますように、メイン・ストリートを組織的に裸にしてき

た。したがって、これらグローバリストは、あらゆる機会をうかがって、レッド・ステートでの散発的な階級闘争を、ブルー・ステートの都会ジャングルの全面人種戦争に、切り替えようとしているのである。彼らは、米ドルが崩壊したとき、命にかかわる脅威にやがて直面し、これを真剣にカバーする必要が生ずることを知っている。次のように——「**人種暴動は、荒れる階級闘争を抑えるために起こされる**」 <http://stateofthenation2012.com/?p=8885>

**キーポイント**：いま爆発している NFL の物語は、深層国家がこの瞬間にも、レーダーに映らない他の陰謀から、大衆の注意をそらすことにも役立っていると、考えていだろう。これらの陰謀が正確に何であるかは、ある程度の時日内に間違いなく現れるだろう。それが何であろうと我々が注意をそらされている物は、非常に**大きな**ものである。この爆発性の NFL の崩壊が、表面的に、あまりにも操作されているので、ここで述べたことをはるかに越えた、特定の目的を先にもっているとしたか考えられない。

---

#### 隠された裏物語：

米情報局共同体は、それをドナルド・トランプのせいにする。様々な情報局が、ソロス自身がやると約束したソフト・クーデタを実現するために、可能なかぎりあらゆることをやっている。実際は CIA が、プロスポーツ、ハリウッド、音楽産業などのすべてを完全にコントロールしている。また“有名人文化”と言われて、ほとんどの著名な俳優、ミュージシャン、プロ運動選手などは、全面的にスパイ組織を介してコントロールされている。エージェントとか弁護士が、そういう著名人に、抗議運動に参加しないかと言われてれば、彼/彼女は盲目的に命令に従うだろう。そうしなければ将来の契約も、スターの名声も失わねばならない。万一、有名人が“政治的正しさ”を守らないと決心したときには、彼らは決してそこへ戻ってこないだろう。彼らはまた、深層国家の指令に従わないことによって、自分の命、家族、また未来を危険にさらすだろう。俳優モーガン・フリーマンのような、より著名な人物については、滑稽なプロパガンダ作品を演ずるように強制される。例えば、「**誰が、ハリウッドのリベラル、モーガン・フリーマンを、熱烈なロシア嫌いにしたか？**」

<http://stateofthenation2012.com/?p=84281>

---

#### ソロスの心理作戦＋CIA の暗黒作戦＝紫革命

ジョージ・ソロスとその一統が真にここでやっていることは、アメリカのあらゆる人物に力を与えて、望むどんなことでも、好きなときに、好きな場所で抗議できるようにすることである。

言い換えると、彼らは、職場で働くかわりに、そこを抗議の場にするのは、完全に正当な権利だと言おうとしている。

彼らは、もしあなたに不満とか、不賛成とか、抗議に値する問題があれば、どんな発表の場でも割って入ることが許されるという、危険な前例を作ろうとしている。

このようにしてソロスとその仲間は、ゆっくりと現れつつある「紫革命」を、ひそかに操作している。適当な時がくれば、これら心底がボルシェビキである者たちは、これらナイーブで疑わぬ著名人たちを利用して、彼らの汚い仕事をさせるだろう。これこそ共産主義革命が常にやってきたことである。彼らは、彼らの不吉な大義を進めることができる者たちを、彼らが不要になるまで、使うのである。

だから今、利用できる無数の、多くは隠密の、陰謀に協力する者たちがいて、彼らはそれと知らずに、この急速に展開する反乱に参加しようとしている。これら紫革命家たちは、社会操縦者、手先としての挑発者、深層国家に特有の COINTELPRO (情報共有プロ) 工作者ばかりではない。そこには、シリコン・バレーの帝王、ハリウッドの大物、東海岸のインテリ、その他多くの、権力エリートを代表する高位の者たちがいる。

ソロスが中東 (アラブの春) やヨーロッパ (巨大移民による EU 崩壊) でやったように、ボタンを押したときには、彼は再び、創り出した混乱からの、彼のねじ曲がった秩序を、忘れようと試みるだろう。

---

**解決法**：愛国運動だけが、この芽生えようとする**紫革命**を食い止めることができる。どのようにしてか？ すべてのプロスポーツ試合を見に行くのをやめ、テレビのスポーツ中継は見ないことだ。映画館や競技場やコンサートへ行かないこと。大学間試合のようなアマチュア・スポーツだけは OK だろう、たぶん。完全な不協和音で満たされた、すべてのポップ音楽を避けよ。ウォルマートや、アマゾンのような、大手小売店は利用しないこと。愛国主義やナショナリズムを標榜する企業を鼻屑せよ。例えば、「パネラ」は明らかに、「スターバックス」より優れている——少なくとも当面は。レストラン・チェーン店や、他の食糧・飲料店も同じ。思い切ってやろう。「今は **Hollyweird (気味の悪いハリウッド) をボイコットする絶好の時だ**」 <http://stateofthenation2012.com/?p=46362> 最も痛い、彼らの収入減を叩くことだ。そうすれば彼らも弱ってくるだろう。

——以上

